

2019 中野区区民意識・実態調査 《概要版》

調査の概要

〔調査の項目〕

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1 定住意向について | 10 人権・男女共同参画について |
| 2 生活環境について | 11 ユニバーサルデザインについて |
| 3 中野区への愛着度・推奨度について | 12 医療保険・国民年金制度について |
| 4 区政参加について | 13 区政情報の入手について |
| 5 社会や地域との関わりについて | 14 外国の方との交流・外国人旅行者について |
| 6 中野駅周辺について | 15 なかのエコポイント制度について |
| 7 商店街に行く頻度について | 16 スポーツ支援について |
| 8 公園・広場等の利用について | 17 施策への評価・要望について |
| 9 地震災害への対策について | |

※他の調査項目は、報告書参照

〔調査対象〕 中野区民で20歳以上の男女個人

〔標本数〕 2,000人

〔有効回収数〕 1,060人 (53.0%)

〔抽出方法〕 層化二段無作為抽出法

〔調査方法〕 郵送配布・郵送回収

〔調査期間〕 令和元年9月19日(木)～令和元年10月17日(木)

結果の見方

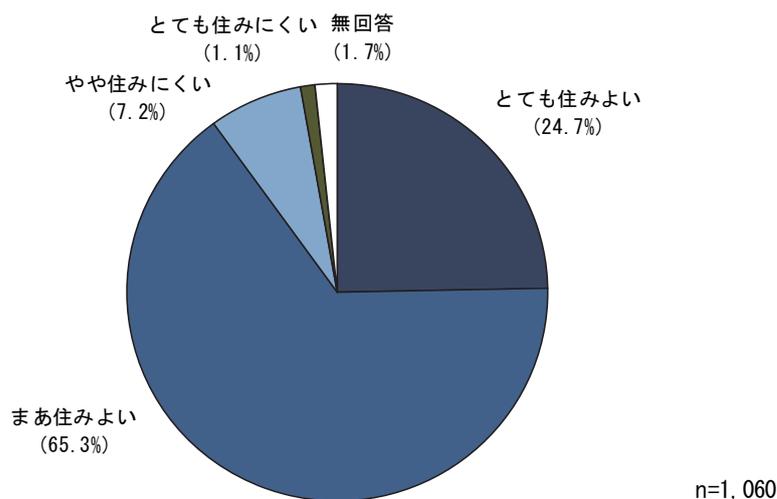
- (1) (○はいくつでも) (○は2つまで) (○は3つまで) (○は最大3つまで) (回答は3つまで) と記述されたもの以外は、選択肢を1つだけ選ぶ設問である。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、単数回答の設問については、すべての選択肢の比率の合計が100.0%に満たない、または上回る場合がある。
- (3) 複数回答の設問については、すべての選択肢の比率の合計が、通常100.0%を超える。
- (4) 本文やグラフ・数表上の選択肢の表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
- (5) グラフに表記される「n=*」(*は数字)は、集計対象の母数を表している。

2020年(令和2年)2月
中野区

1 定住意向について

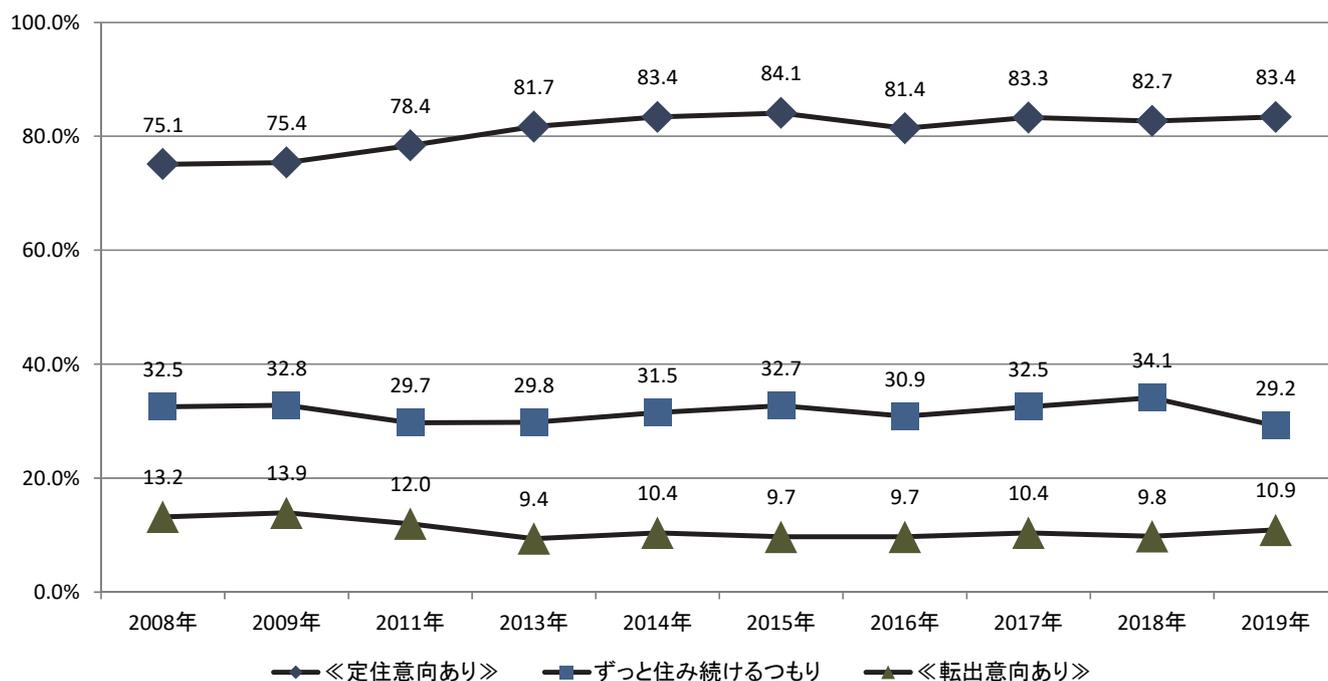
(1) 区内定住意向

定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けるつもり」(29.2%)と「今のところは住み続けるつもり」(54.2%)を合わせた《定住意向あり》(83.4%)は8割前半となっている。一方、「いずれ区外へ転出するつもり」(8.1%)と「近いうちに区外へ転出するつもり」(2.8%)を合わせた《転出意向あり》(10.9%)は約1割となっている。



<参考>経年調査との比較

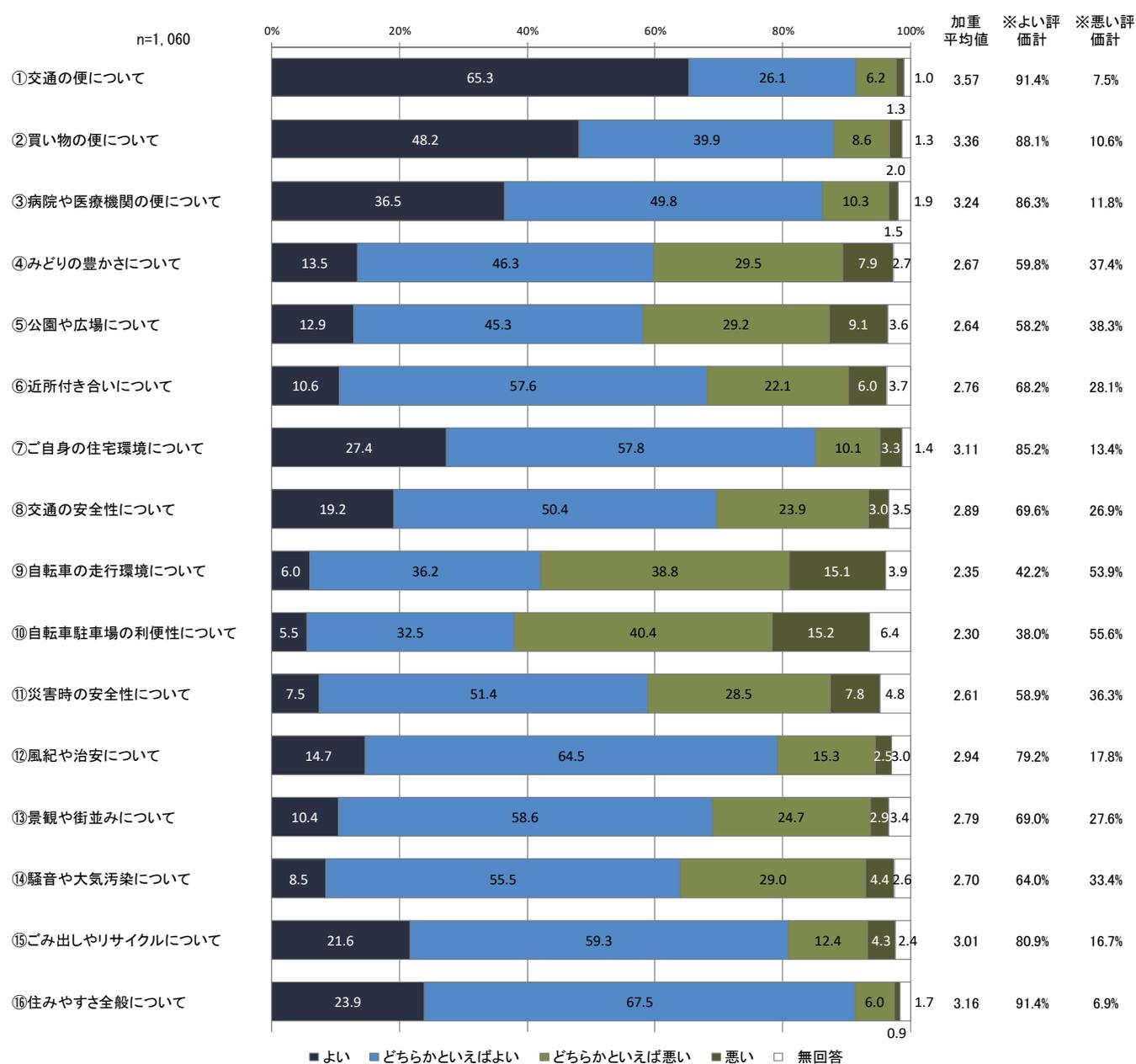
定住・転出意向の推移をみると、「ずっと住み続けるつもり」はやや低くなっているが、《定住意向あり》と《転出意向あり》ともに2018年から大きな変化はみられない。



2 生活環境について

(1) 生活環境の評価

生活環境について聞いたところ、「よい」と「どちらかといえばよい」を合わせた《よい評価》は、『交通の便について』と『住みやすさ全般について』(91.4%)で約9割と最も高く、次いで『買い物の便について』(88.1%)、『病院や医療機関の便について』(86.3%)となっている。一方、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた《悪い評価》は、『自転車駐車場の利便性について』(55.6%)で5割半ばと最も高くなっている。

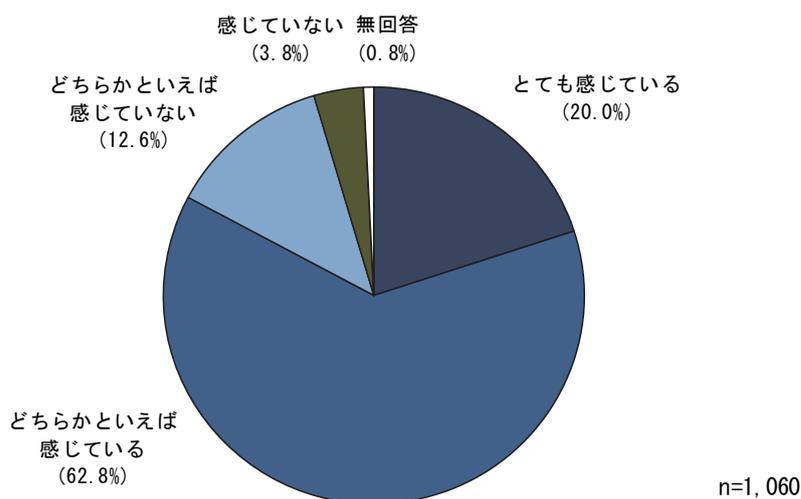


※加重平均値は、選択肢「よい」を4点、「どちらかといえばよい」を3点、「どちらかといえば悪い」を2点、「悪い」を1点として算出している。

3 中野区への愛着度・推奨度について

(1) 中野区への愛着度

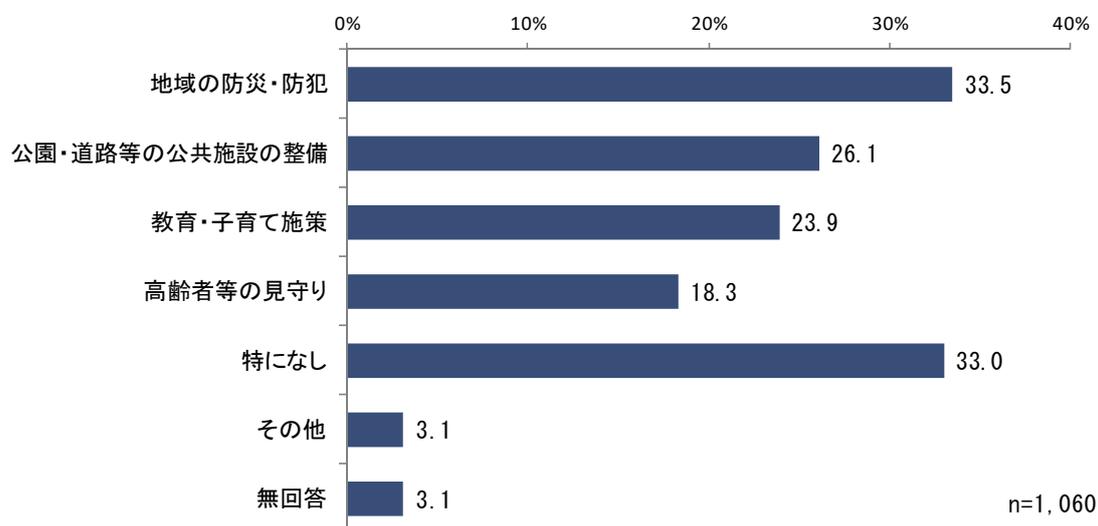
中野区への愛着度を聞いたところ、「とても感じている」(20.0%)と「どちらかといえば感じている」(62.8%)を合わせた「愛着を感じている」(82.8%)は8割前半となっている。一方、「どちらかといえば感じていない」(12.6%)と「感じていない」(3.8%)を合わせた「愛着を感じていない」(16.4%)は1割半ばとなっている。



4 区政参加について

(1) 参加したい区の実施

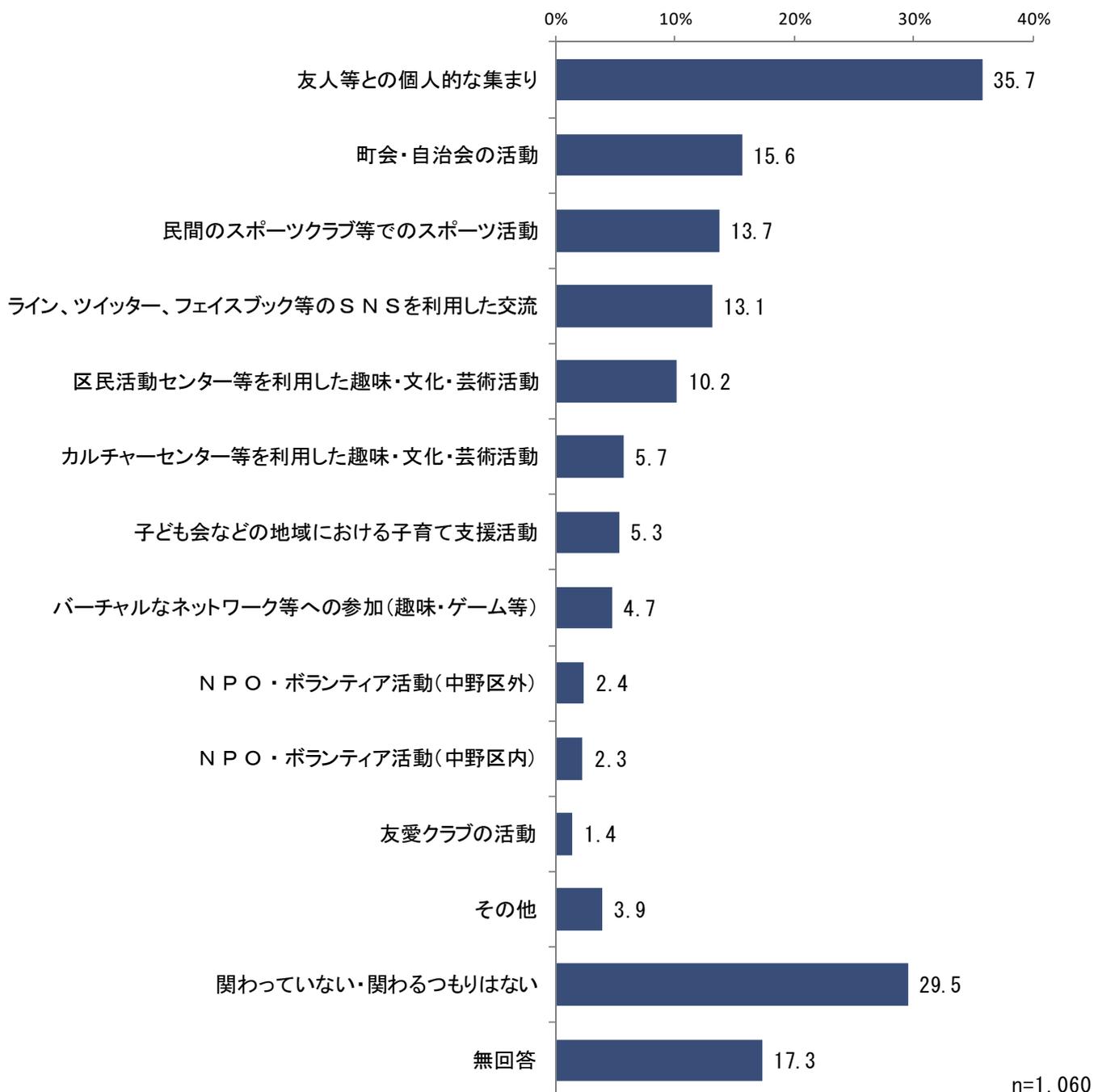
参加したい区の実施について聞いたところ、「地域の防災・防犯」(33.5%)が3割前半で最も高く、次いで「公園・道路等の公共施設の整備」(26.1%)、「教育・子育て施策」(23.9%)となっている。一方、「特になし」(33.0%)は3割前半となっている。



5 社会や地域との関わりについて

(1) 最近1年間に参加した地域活動

最近1年間に参加した活動（複数回答）を聞いたところ、「友人等との個人的な集まり」（35.7%）が3割半ばで最も高く、次いで「町会・自治会の活動」（15.6%）、「民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動」（13.7%）となっている。一方、「関わっていない・関わるつもりはない」（29.5%）は約3割となっている。

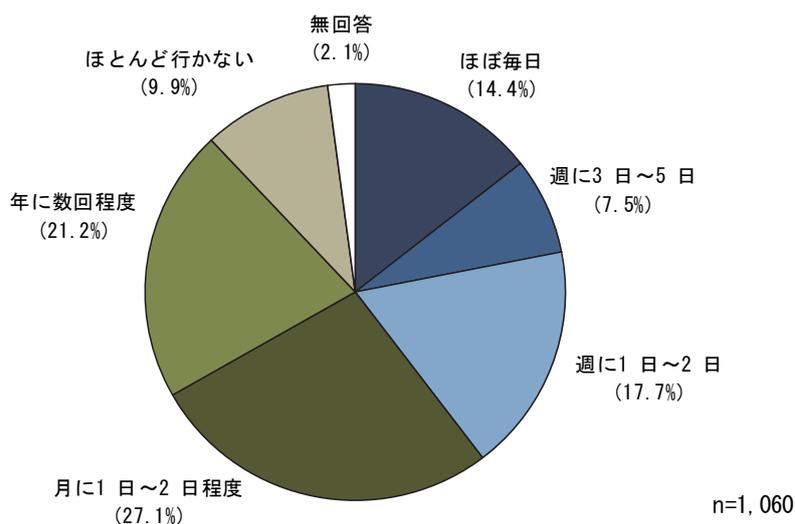


6 中野駅周辺について

(1) 中野駅周辺に行く頻度

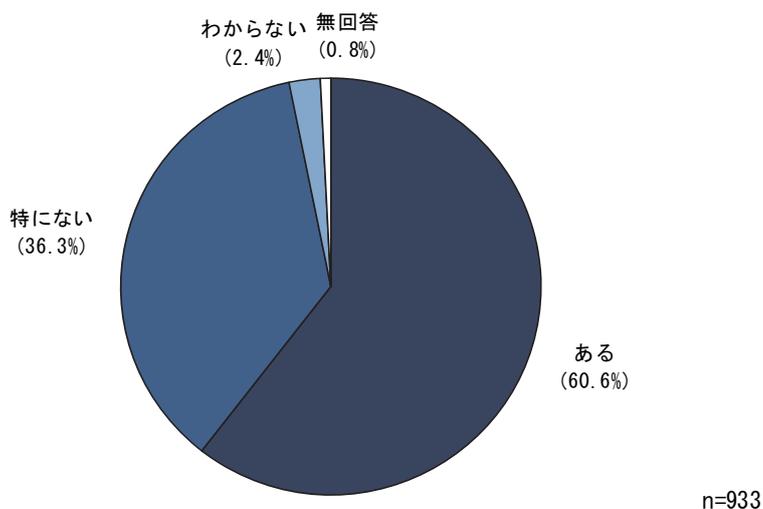
中野駅周辺に行く頻度を聞いたところ、「月に1日～2日程度」(27.1%)が2割後半で最も高く、次いで「年に数回程度」(21.2%)、「週に1日～2日」(17.7%)となっている。

「ほぼ毎日」(14.4%)、「週に3日～5日」(7.5%)、「週に1日～2日」(17.7%)を合わせた「週1日以上」(39.6%)行く人は約4割となっている。



(2) 中野駅周辺利用時の不満の有無

中野駅周辺を利用する人に不便や不快など不満の有無を聞いたところ、「ある」(60.6%)が約6割で、「特にない」(36.3%)を大きく上回っている。

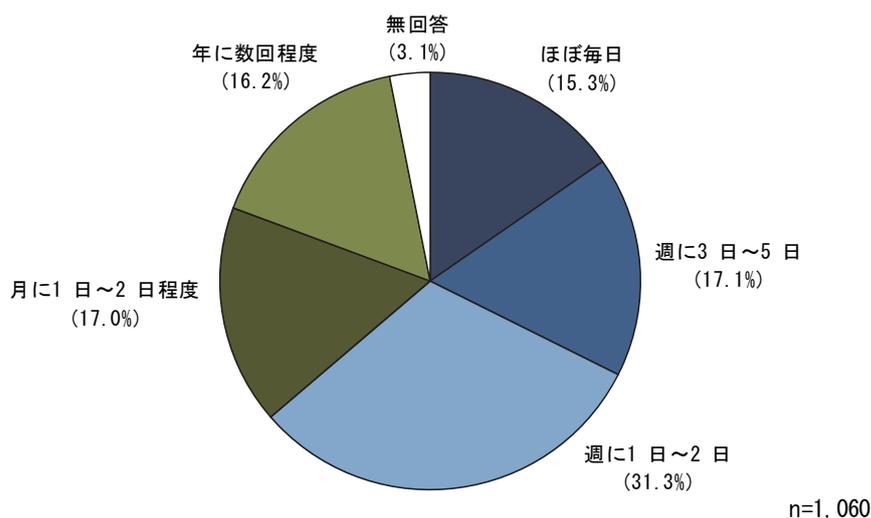


7 商店街に行く頻度について

(1) 商店街に行く頻度

商店街に行く頻度を聞いたところ、「週に1日～2日」(31.3%)が約3割で最も高く、次いで「週に3日～5日」(17.1%)、「月に1日～2日程度」(17.0%)となっている。

「ほぼ毎日」(15.3%)、「週に3日～5日」(17.1%)、「週に1日～2日」(31.3%)を合わせた「週1日以上」(63.7%)行く人は6割前半となっている。

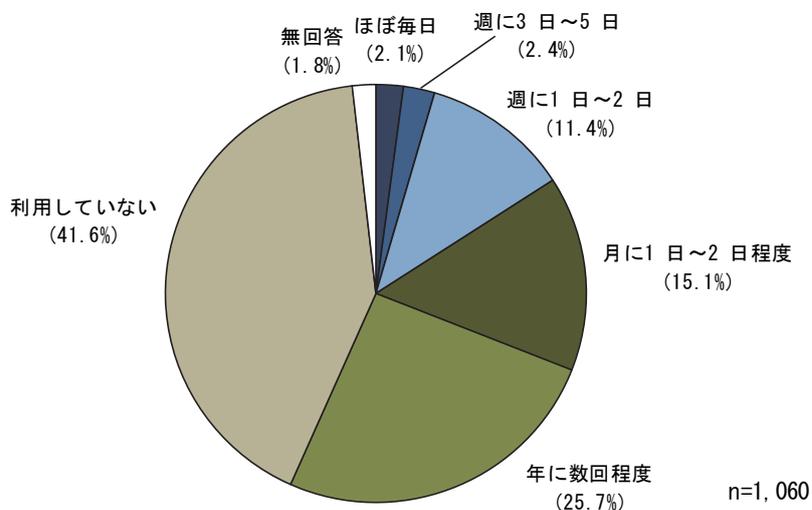


8 公園・広場等の利用について

(1) 区内の公園や広場の利用状況

公園や広場の利用頻度を聞いたところ、「利用していない」(41.6%)が約4割で最も高く、次いで「年に数回程度」(25.7%)、「月に1日～2日程度」(15.1%)となっている。

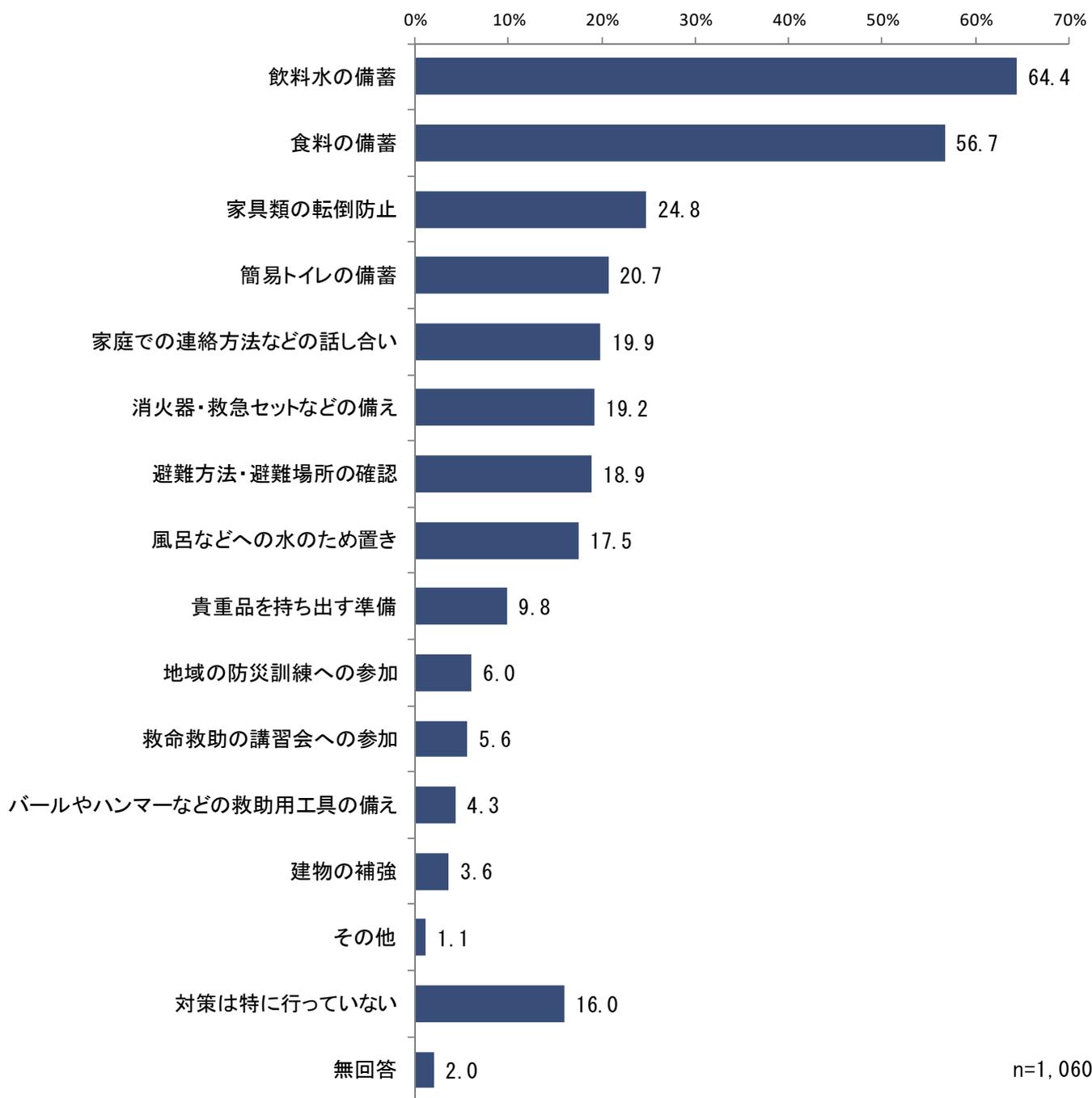
「ほぼ毎日」(2.1%)、「週に3日～5日」(2.4%)、「週に1日～2日」(11.4%)を合わせた「週1日以上」(15.9%)行く人は1割半ばとなっている。



9 地震災害への対策について

(1) 家庭での備え

地震災害に備えて家庭内で行っている対策を聞いたところ、「飲料水の備蓄」(64.4%)が6割半ばで最も高く、次いで「食料の備蓄」(56.7%)、「家具類の転倒防止」(24.8%)となっている。

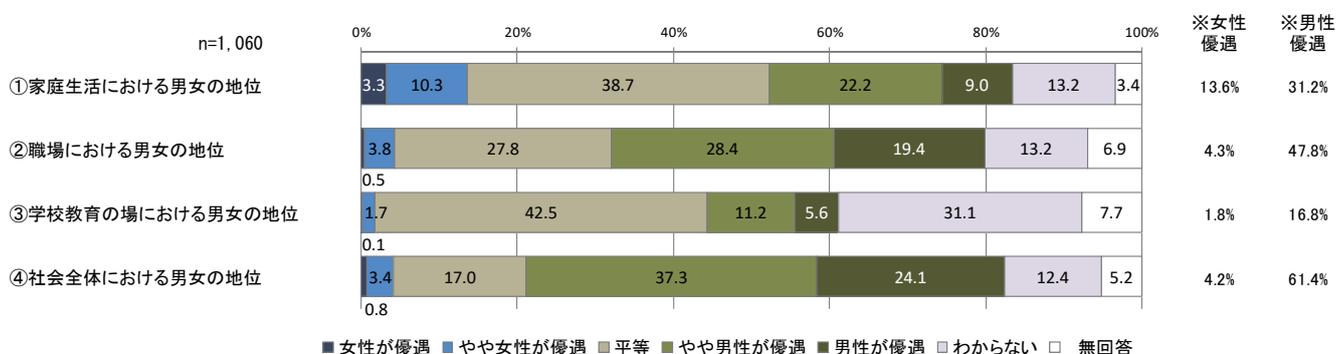


10 人権・男女共同参画について

(1) 男女の地位の平等感

4つの分野において、男女の地位は平等だと思うか聞いたところ、「平等」が最も高かったのは『③学校教育の場における男女の地位』(42.5%)であり、次いで『①家庭生活における男女の地位』(38.7%)、『②職場における男女の地位』(27.8%)、『④社会全体における男女の地位』(17.0%)となっている。

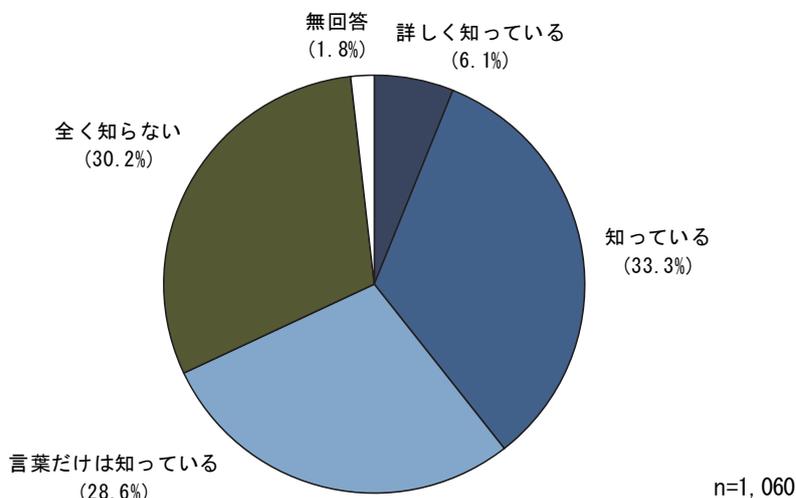
4つの分野はいずれも、「男性が優遇」と「やや男性が優遇」を合わせた《男性優遇》が、「女性が優遇」と「やや女性が優遇」を合わせた《女性優遇》を上回っている。『④社会全体における男女の地位』では、《男性優遇》(61.4%)と《女性優遇》(4.2%)の格差が57.2ポイントと最も大きくなっている。



11 ユニバーサルデザインについて

(1) ユニバーサルデザインの認知度

「ユニバーサルデザイン」の認知度を聞いたところ、「詳しく知っている」(6.1%)、「知っている」(33.3%)、「言葉だけは知っている」(28.6%)を合わせた《知っている》(68.0%)が6割後半で、「全く知らない」(30.2%)が約3割となっている。

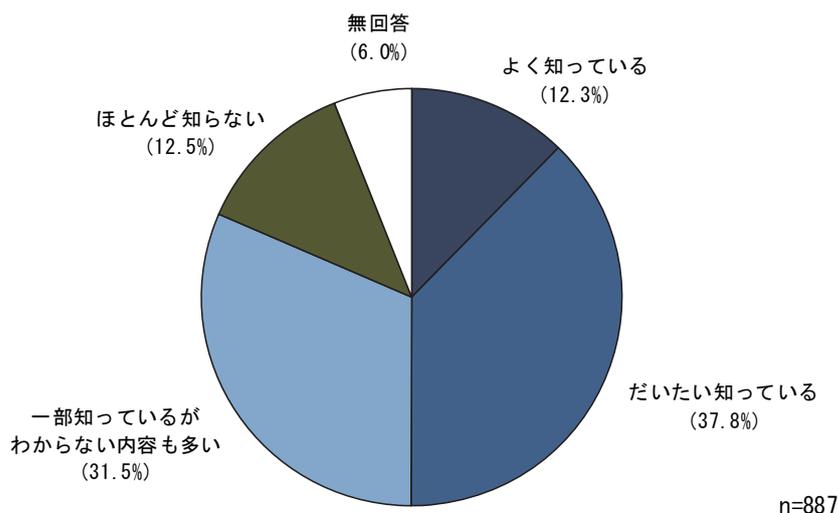


1 2 医療保険・国民年金制度について

(1) 国民健康保険のしくみ認知度

74歳以下の方に国民健康保険のしくみをどの程度知っているか聞いたところ、「だいたい知っている」(37.8%)が3割後半で最も高く、次いで「一部知っているがわからない内容も多い」(31.5%)、「ほとんど知らない」(12.5%)となっている。

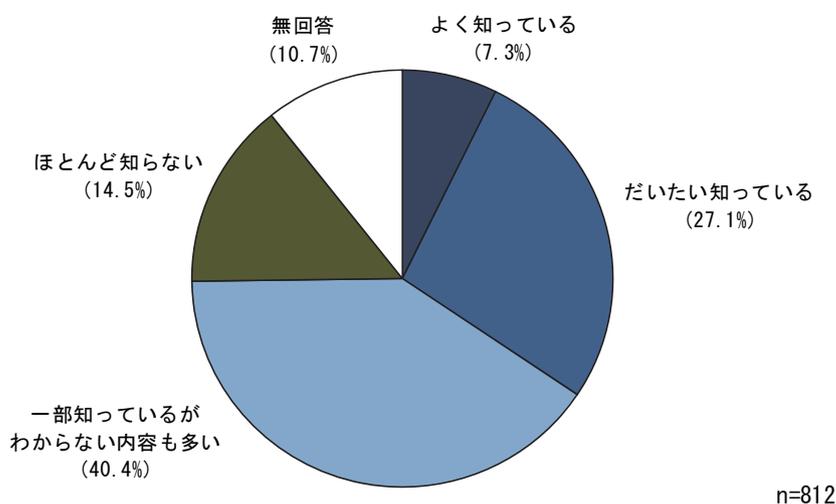
「よく知っている」(12.3%)と「だいたい知っている」(37.8%)を合わせた《知っている》(50.1%)は約5割となっている。



(2) 国民年金制度のしくみ認知度

65歳以下の方に国民年金制度のしくみをどの程度知っているか聞いたところ、「一部知っているがわからない内容も多い」(40.4%)が約4割で最も高く、次いで「だいたい知っている」(27.1%)、「ほとんど知らない」(14.5%)となっている。

「よく知っている」(7.3%)と「だいたい知っている」(27.1%)を合わせた《知っている》(34.4%)は3割半ばとなっている。

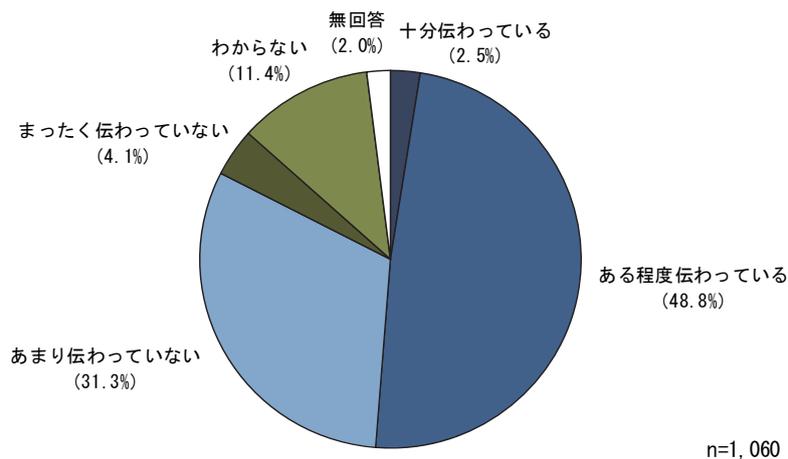


1 3 区政情報の入手について

(1) 区政情報の伝達状況

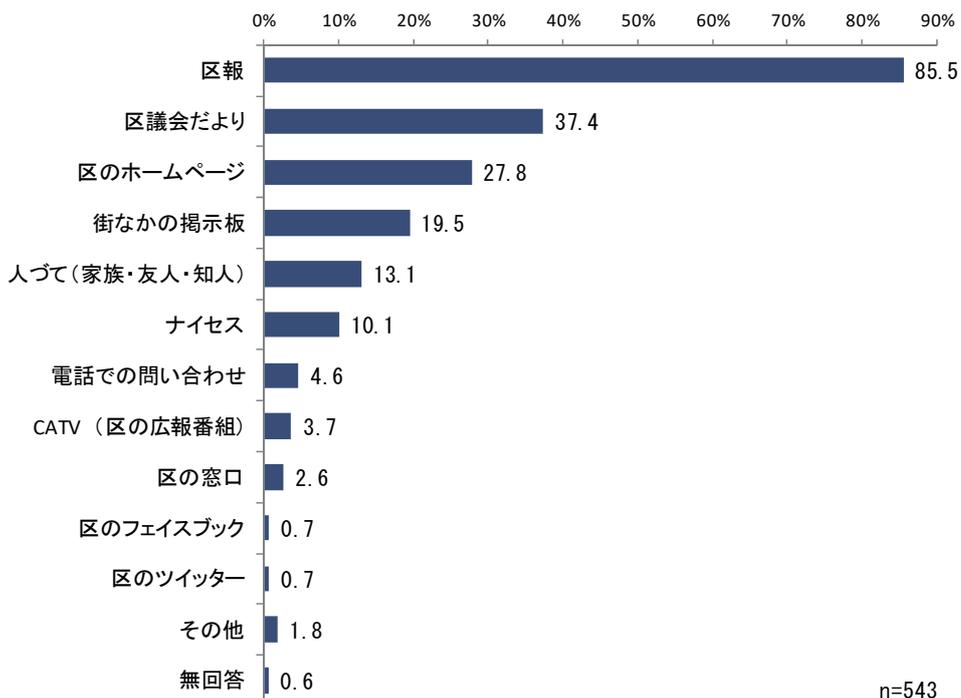
必要とする中野区の情報が伝わっているか聞いたところ、「ある程度伝わっている」(48.8%)が4割後半で最も高く、次いで「あまり伝わっていない」(31.3%)、「わからない」(11.4%)となっている。

「十分伝わっている」(2.5%)と「ある程度伝わっている」(48.8%)を合わせた「伝わっている」(51.3%)は約5割となっている。



(2) 区政情報の入手先

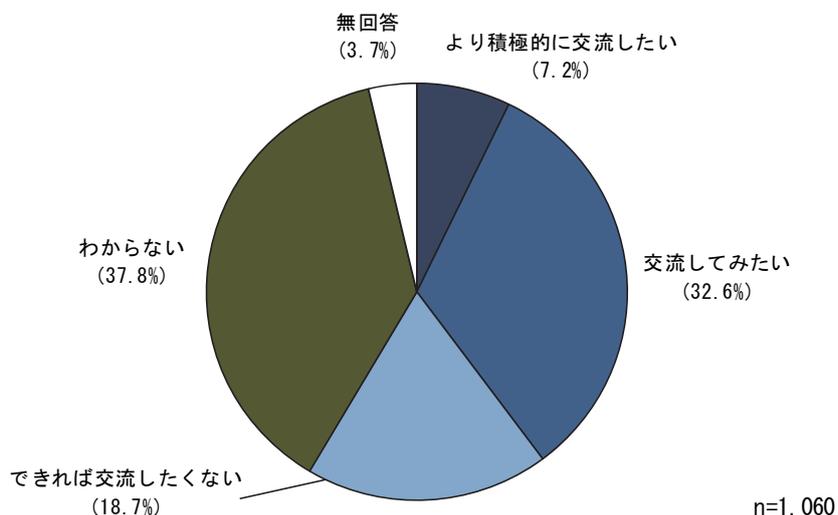
中野区の区政情報を得られている人に主な入手先(複数回答)を聞いたところ、「区報」(85.5%)が8割半ばで最も高く、次いで「区議会だより」(37.4%)、「区のホームページ」(27.8%)となっている。



14 外国の方との交流・外国人旅行者について

(1) 外国人旅行者との交流意向

外国人旅行者との交流意向について聞いたところ、「より積極的に交流したい」(7.2%)と「交流してみたい」(32.6%)を合わせた《交流したい》(39.8%)が約4割となっている。一方、「わからない」(37.8%)は3割後半、「できれば交流したくない」(18.7%)は1割後半となっている。

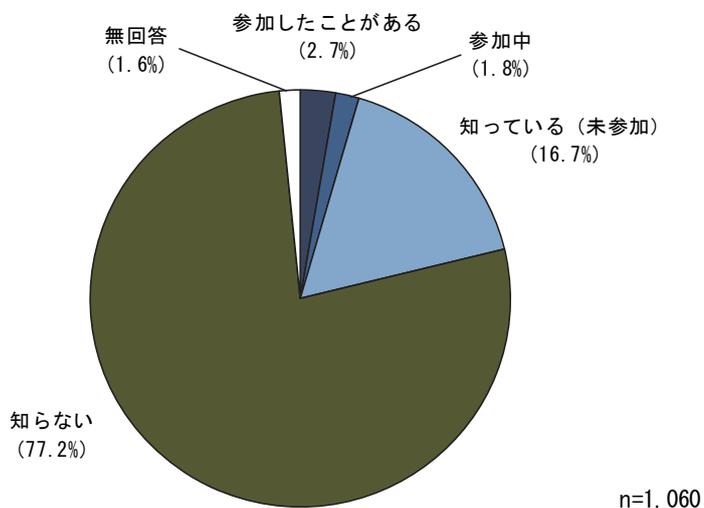


15 なかのエコポイント制度について

(1) なかのエコポイント制度の認知度

なかのエコポイント制度の認知度を聞いたところ、「知らない」(77.2%)が7割後半を占めている。

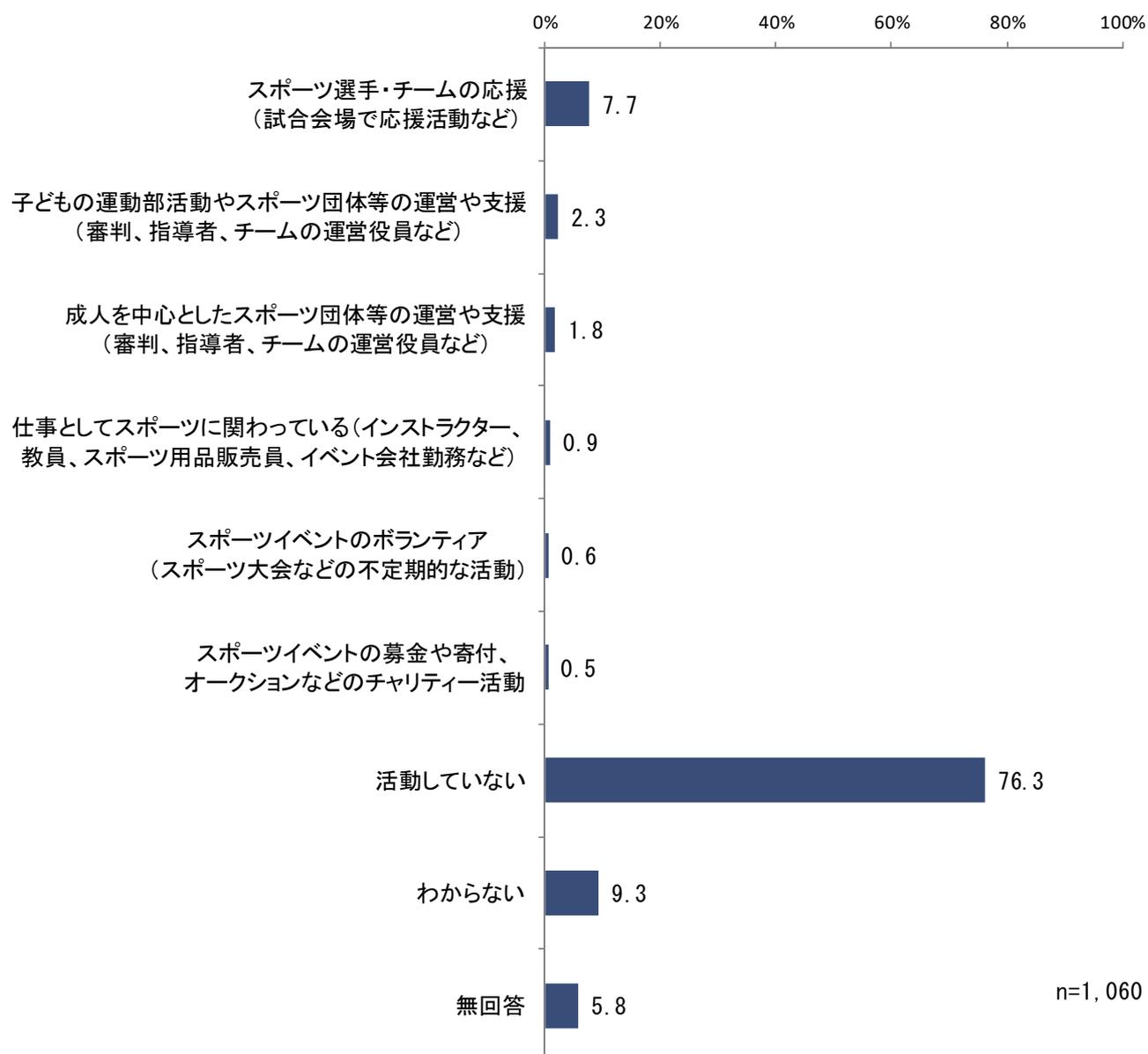
「参加したことがある」(2.7%)、「参加中」(1.8%)、「知っている(未参加)」(16.7%)を合わせた《知っている》(21.2%)は約2割となっている。



16 スポーツ支援について

(1) スポーツを支える活動

最近1年間にかかわったスポーツを支える活動を聞いたところ、「活動していない」(76.3%)が7割半ばで最も高く、次いで「スポーツ選手・チームの応援(試合会場で応援活動など)」(7.7%)、「子どもの運動部活動やスポーツ団体等の運営や支援(審判、指導者、チームの運営役員など)」(2.3%)となっている。



17 施策への評価・要望について

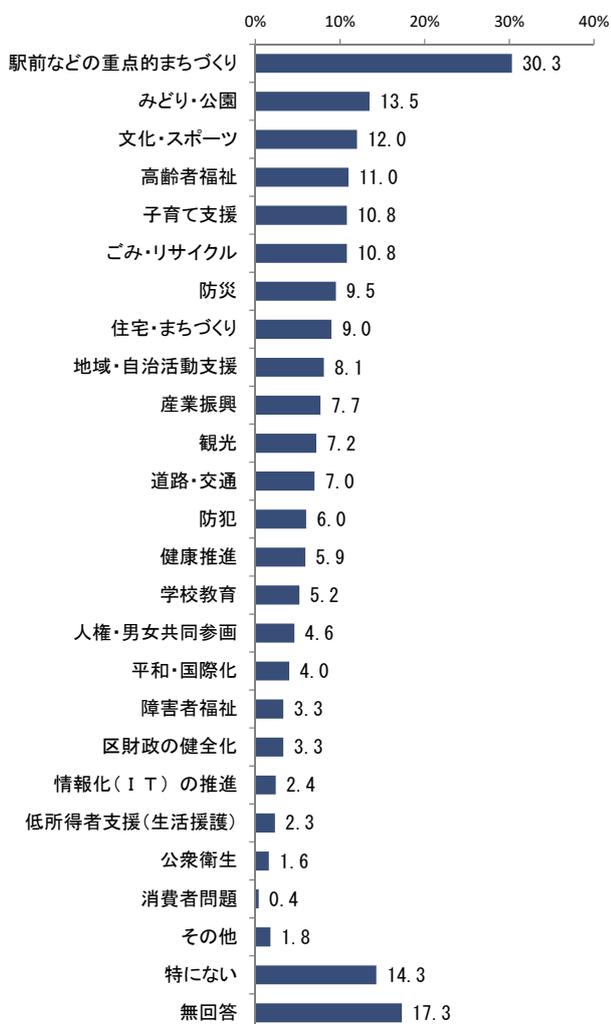
(1) 区の施策への評価と要望

中野区が特に力を入れていると感じる施策（複数回答）を聞いたところ、「駅前などの重点的まちづくり」(30.3%) が約3割で最も高く、次いで「みどり・公園」(13.5%)、「文化・スポーツ」(12.0%) となっている。

今後特に力を入れてほしい施策（複数回答）について、第1位から第3位までの順位を聞いたところ、合計（第1位～第3位計）では「防災」(23.4%) が2割前半で最も高く、次いで「子育て支援」(20.9%)、「高齢者福祉」(20.8%) となっている。

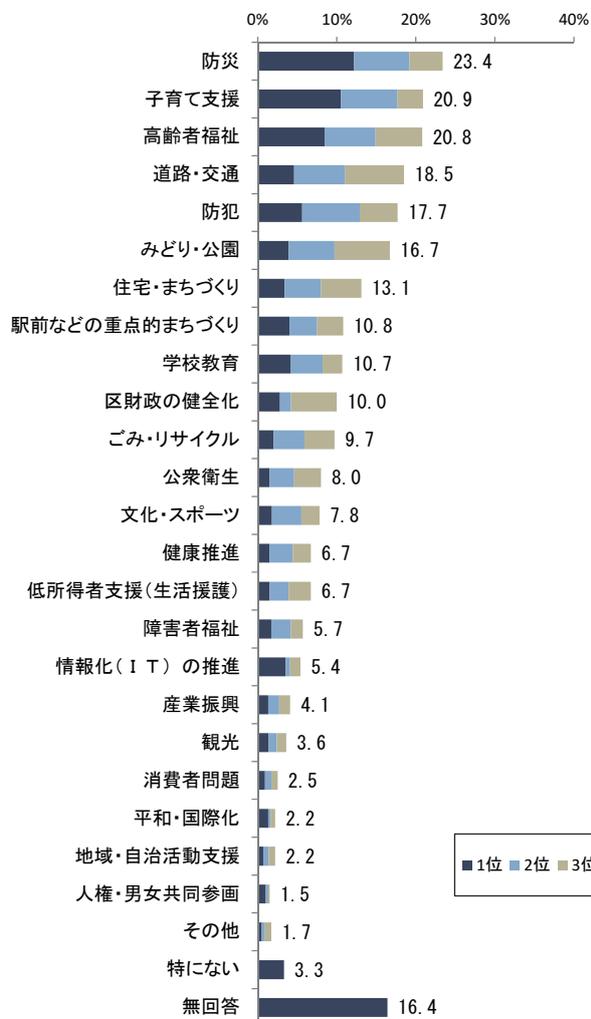
【区の施策への評価】

(3つまで回答)



【区の施策への要望】

(第1位～第3位と合計)



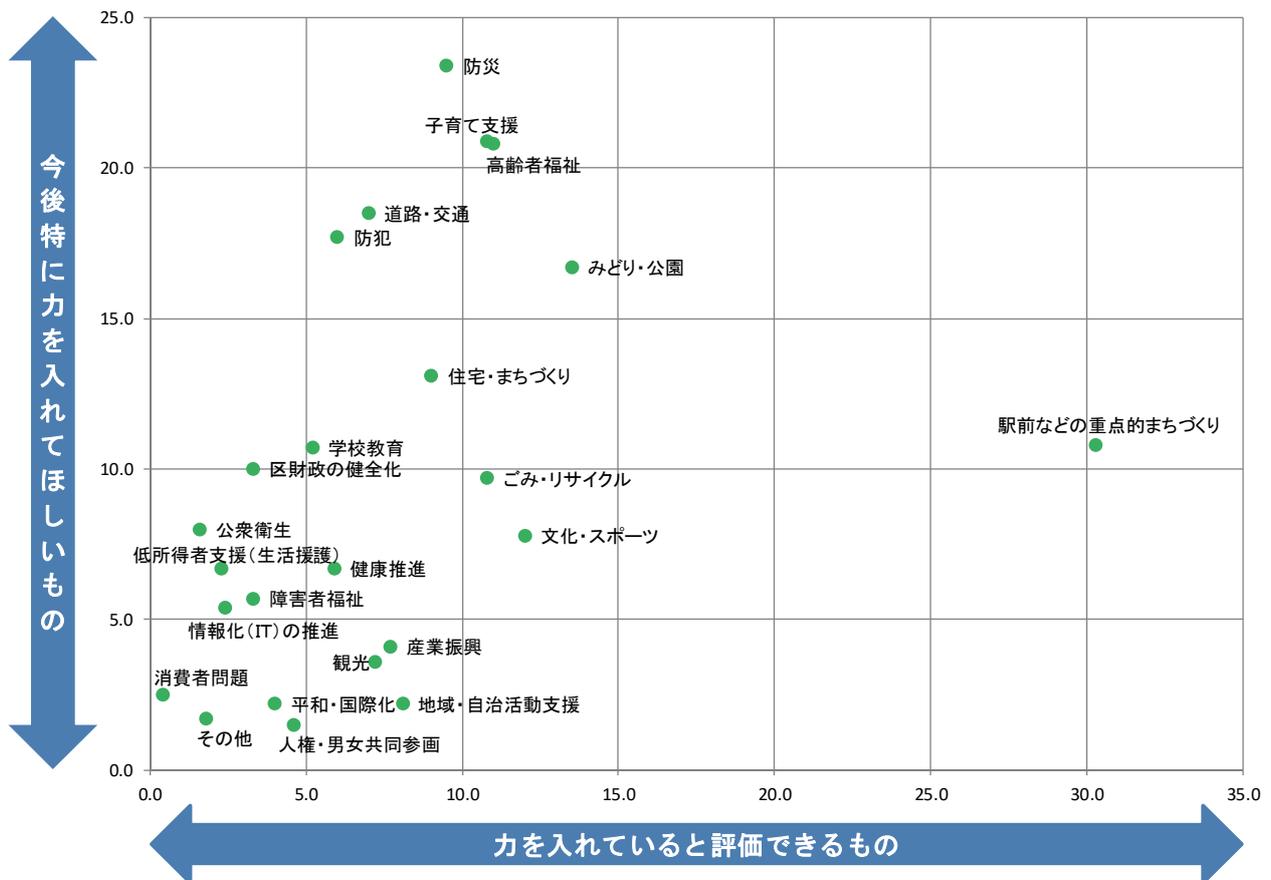
※「特にない」「無回答」は合計（第1位～第3位計）を表示

(2) 区の施策への評価と要望（散布図）

区の施策への評価と要望の関係をみるために、「力を入れていると評価できるもの」を横軸に、「今後特に力を入れてほしいもの」を縦軸にとり、24項目とその位置をあらわしたのが下の図である。

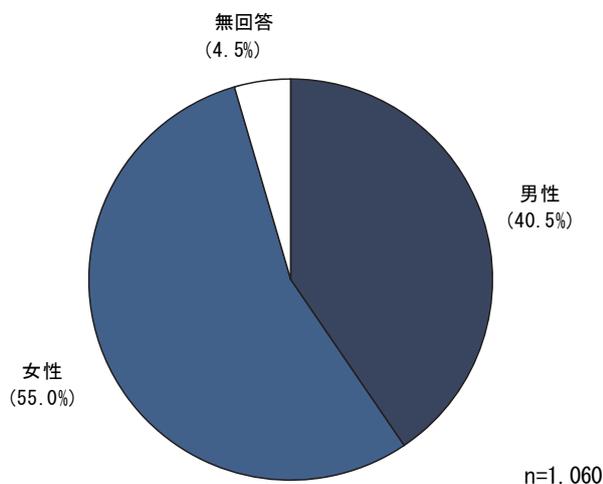
この図では、左下に位置するほど「評価」も「要望」も低い施策であることを、反対に図の右上に位置するほど「評価」も「要望」も高い施策であることを意味している。さらに、左上に位置するほど、「評価」は低いが「要望」が高い施策であることを、反対に右下に位置するほど「評価」は高いが「要望」が低いことを意味している。

それぞれのカテゴリ別でみると、左上には「防災」、「子育て支援」、「高齢者福祉」などが位置づけられている。一方、右下には「駅前などの重点的まちづくり」が位置づけられている。

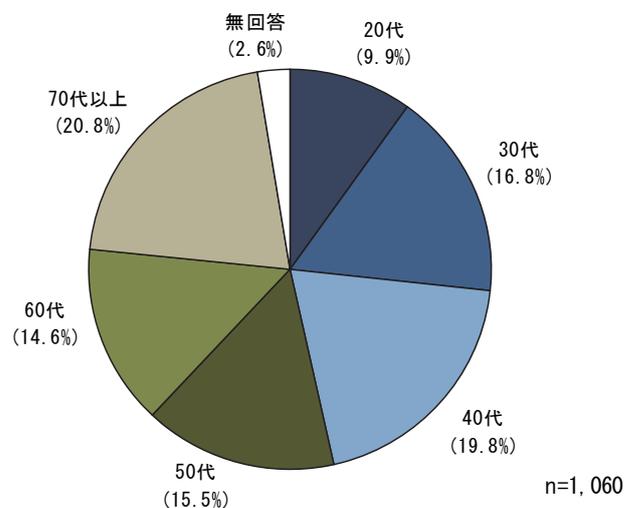


回答者属性

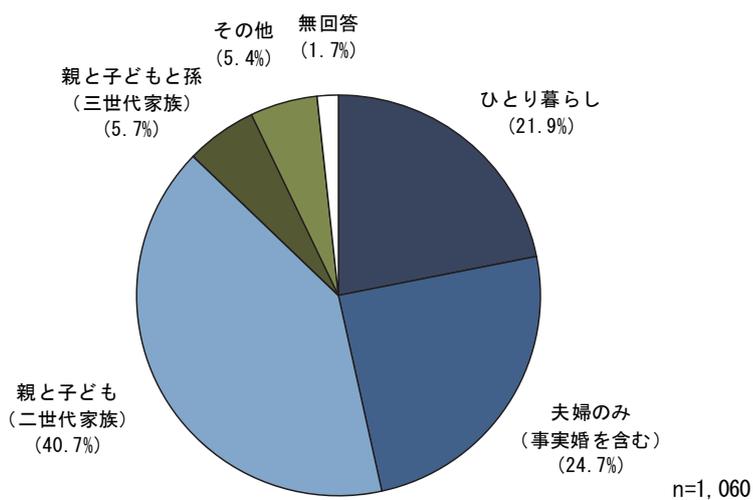
性別



年代



同居家族形態



居住地域



2019 中野区区民意識・実態調査報告書
 令和2年2月発行 文書番号31中企企第799号
 発行：中野区企画部企画課政策情報係
 東京都中野区中野4-8-1
 電話 03-3228-8892 (直通)